

日の里幼稚園 公開資料

教職員による幼稚園評価・自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直す、よい機会になり、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができると考えます。この評価結果を深く受け止め、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、保育の質の向上に努めてまいります。

令和4年度

自己評価
結果報告書

学校法人 松栄学園

日の里幼稚園

経営理念・教育理念・教育方針・教育目標

《学校法人 松栄学園》

【経営理念】

*園児と保護者・教職員に喜びを与え、笑顔あふれる地域社会をめざす。

【教育理念】

*遊びを中心とした楽しい集団生活の中で、豊かな体験を通して、21世紀を生き抜く力を育て、豊かな心・健やかな体・優れた知性を備えた、バランスのとれた人間の育成に努める。

【教育方針】

*ゆたかな心・すこやかな体・すぐれた知性の、バランスのとれた子どもを育てる。

【教育目標】

*各学年の教育目標

《年少組・教育目標》

- *喜んで登園して、友達と遊べるようになる。
- *集団生活には、「きまり」があることを知る。
- *身の回りのことが、できるようになる。
- *身近な人と関わって、愛情や信頼感をもつ。
- *道具の正しい使い方を覚える。

《年中組・教育目標》

- *周りの環境や友達と関わることを通して、好奇心や探求心を抱く。
- *基本的な生活習慣が身につくこと、「きまり」を守れるようになる。
- *身近な自然に触れて、動植物に興味や関心をもつ。
- *相手の話を注意して聞こうとしたり、経験したことを相手にわかるように話す。
- *美しいものを見て、美しいと感じる。(新入園児は、「年少組の教育目標」も含める。)

《年長組・教育目標》

- *年長の自覚をもつ。
- *物事に進んで取り組む意欲と自信をもつ。
- *文字や数量に対する感覚や、その記号的意味に気づく。
- *人の話を聞いて、理解して、(短くとも)まとまりのある話をする。
- *自分の考えや感じを言葉や体を使って表現する。
- *友達と役割を決めて、協力して遊ぶ。

1) 保育の計画性	園の教育理念 各学年の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念と各学年の教育目標を常に頭に入れ、達成する姿をイメージしながら毎日の保育に取り組んでいる。
	指導計画	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度、保育カリキュラムを作成し、5領域に沿った目標を立てて、保育の中で取り組んでいる。 ・その時の子どもの様子や出来ることを見ながら計画案を見直している。 ・学年主任を中心に学年ごとに話し合いを重ねて、園児が主体的に参加できる活動を考え、週案を作成する。 ・担任は保育日誌に週案を記入し、毎日反省記録を残している。日誌を見返して、次の週案作成や保育内容の変更などに生かしている。 ・保育日誌は、週の初めに、園長が目を通し、そのクラスの様子や担任が感じたこと、反省点を共有している。 ・各クラス目標を壁に提示し、常に意識できるようにする。 ・幼保連絡会で小学校の先生と情報交換を行い、スムーズに就学につなげていけるよう取り組んでいる。
	反省	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ということで、行事やカリキュラムの見直しが多かった。 ・行事ごとに各自が反省・改善点をあげ、写真と共に記録に残し、誰が見ても分かるようにまとめている。
2) 保育の在り方 子どもへの対応	安全点検	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの置き去り事故を踏まえて、再度、安全管理マニュアルを職員で見直し、修正を加えて、そのやり方を徹底する。 ・バスの運転手と職員代表4名が保健福祉復興財団主催の「バス送迎における安全管理徹底のための研修」を受けた。 ・職員のAEDの研修と、月1回の避難訓練を実施しています。 ・遊具の安全チェックを業者さんにしてもらう。

	健康・衛生面	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、保護者に検温をしてもらい、表に記入してもらう ・保育中、体調が悪くなった園児がいたら、その時に応じた処置をし、保護者に連絡してお迎えに来てもらう。その間、事務室で休ませる ・ケガが出た際は、すみやかに保護者に連絡をして医療機関に連れていく旨を伝え、園長が連れていく。出来るだけ保護者の方にも医療機関に付き添ってもらい、診療結果を共有する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・終礼で、ケガが出たことを伝えて、職員間で情報を共有する。 ・毎朝マラソンを行って、体力作りを図る。 ・熱中症対策で、ミスト装置の設置。
	コロナ渦における対応の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対応も3年目を迎え、多くの事を変更し、日々緊張感のある保育だったが、コロナ対応にしてきたことが、今後の園の在り方につなげていけるものもあり、勉強になった。 ・毎日の検温・手指消毒・屋内マスクを使用。 ・教室内の消毒・次亜塩素酸水噴霧器の使用。 ・バス・遊具の消毒。 ・給食時のパーテーションの使用。または同一方向を向いて食事をする。 ・行事に関して、保護者の入場の人数制限を設ける。 ・入園式・卒園式・運動会・生活発表会のオンラインライブ配信の実施。
3) 教師としての資質と能力		<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりとじっくり関わり、信頼感を築く。 ・言葉遣いに注意して、丁寧な話し方を心掛ける。 ・身だしなみに十分注意して、第一印象を良いものにするよう心掛けている。 ・手遊び・紙芝居・大型絵本などを効果的に使い、子どもの興味を引きつける ・園児一人ひとりの個性や性格を把握して、日々のちょっとした様子の変化にすぐに気づけるようにする。何かその子に変化があれば、他の職員にも相談して解決策を考える。 ・挨拶・笑顔を習慣づける。 ・研修を受け、教師自身の意識を高める。
4) 保護者への対応	保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・おたより帳にて、保護者との手紙のやり取りを行っており、その子の園での様子を伝えている。小さなことでも、保護者が知りたいであろう情報は共有するよう心掛け、信頼関係につなげている。また、保護者のフォローも忘れずに行っている。延長保育の申し込みやバスの変更の連絡は、特に見落とさないよ

		<ul style="list-style-type: none"> う気をつけている。 その日の様子をお迎えの時に伝えたり、バス利用の園児の保護者には、電話をして伝えるようにして、保護者とのコミュニケーションを図っている。 病気で欠席した時には、必ず担任が電話をし、様子を聞くようにしている。また、連絡がないまま登園していないご家庭には、朝のうちに連絡を取るようにする 月に一度おたより帳を預かり、子どもの様子をお手紙形式で記入したものを貼っている。子どもも読めるように、平仮名で書き、自己肯定感を高めている。 保護者会を通して、園とのコミュニケーションを図っている。 保護者との連携を図るために、保育参観や給食参観を行い、子どもたちの様子を観覧してもらう。
	苦情	<ul style="list-style-type: none"> 園バス等で苦情が入った際には、すぐに園長に報告し、対応・改善している。翌日からの変更を心掛け、職員間でも内容を共有し改善に努める。
	反省	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との信頼関係は、よく築けていると思う。保護者会との連携もスムーズにできている。 園へのクレームはほとんどない。 発達障害を持った園児とその保護者との連携が少し難しいように感じている。
5) 研修と研究		<ul style="list-style-type: none"> 保育の質を高める為に園内で研究保育を行なっている。そのクラスにあった教材を担当が考え、その指導を見て反省会を行ない、意見を出し合っている。経験にかかわらず学ぶことも多く、勉強になっている。 年間を通して、定期的に外部の講師の研修を受けている。ディスカッションの時間もあり、意見交換を行ない、日々の保育に生かしている。 保護者に対しても、保護者講演会という形で外部講師によるオンライン研修を実施している。 社会福祉協議会推進事業での参加。
	反省	<ul style="list-style-type: none"> 研修を受けさせてもらえることを当たり前だと思わず、感謝して取り組み、向上心を培っていきたい。 福祉では年長組を中心に手話や絵画コンクール、伝承遊びなどを通して福祉に関してのこを地域に反映している。

今後取り組むべき課題・反省

1) 保育の計画性について	<ul style="list-style-type: none"> 子ども主体となる指導計画案を作成して実施していく コロナの状況の変動に応じて、行事や保育の内容を見直し、最善の
---------------	--

	案を進めていく
2) 保育のあり方 子どもへの対応について	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議の時間がなかなかとれずにいるので、回数を増やし、自分のクラスでない子の心配事なども共有し、職員間の連携をさらに密にしていきたい。 ・子ども一人ひとりの健康状態を把握して、少しの体調の変化にも気づけるようにする ・熱性けいれんが起こった場合の対応の仕方を 再度 職員間で確認する
3) 教師としての資質と能力について	<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育理念をしっかりと理解し、日々向上心を持って保育に臨む。
4) 保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が感じている心配事を共有し、その子の成長の手助けが出来るよう職員全員で配慮する。 ・SNSを上手に利用して、子どもの園での様子を発信していく
5) 研修と研究	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で参加できる新たな研修に、積極的に参加して、キャリアアップをめざす。

財務管理について

監査法人の公認会計士により、適正に、運営されていると認められている。